

岩木山の特産種「ミチノクコザクラ」ギャラリー



ミチノクコザクラの白花は非常に貴重なもので一生に一回も出会えないというものです。

岩木山編

あおもりの春を歩く ― 其の三



白神山地から望む春の岩木山

赤倉コース 赤倉登山道 (6km)

穏やかなイメージの岩木山だが天候によっては厳しい山である。また、登山道は岩や傾斜も多く、気軽な登山には向かない。只々もきちんとした装備での入山が必要である。

- **コースタイム** ※コースタイムはあくまでも目安です(休憩時間含まず)。
 赤倉神社(登山口) 15分 祠・宿舎 50分 伯母石 30分 鬼の土俵 20分 大開き 20分 赤倉御殿 5分 聖観音像 40分 山頂



美しいお願の第九番の石仏と淡い新緑。



樹齢は数千年だが、風が強く雪が深いため、1年に1mmも太くならない。



ナナカマドに寄生したヤドリギ



赤倉大権現



聖観音像

岩木山山頂 1,825m付近

赤倉神社 登山口

登山口

- 赤倉神社の鳥居横から登山道スタート。
- 入山心得看板

祠・宿舎

- 道は二手に分かれている。左が登山道で岩木山山頂に通じている。
- 石組みの階段が整備されている。石の階段を登り終えたところに第一番如意輪観音石像がある。

- フナ林の中を進む。新緑のフナ林で森林浴。

- 一定の斜度で続く石組みの階段。

- すべての観音石像に白布が添えられており、人々のあたたかな信仰を感じる。

- 標高約900mの伯母石。巨岩そばでひと休み。

- 巨岩が集合する伯母石には巻き道がついている。巻き道にも観音石像があり、途中、七里長浜と日本海も見える。大きな岩がごろごろして歩きにくい。

- 巻き道を抜け、春もみじの登山道を行く。石組み階段はまだ続く。

- ミネカエヤやナナカマドの春もみじが美しい。眺望が得られるようになってきたら鬼の土俵は近い。

- 平坦で小さな広場。石組みで土俵がつけられている休憩ポイント。鬼は鬼でも岩木山の神様のあつかいで手助けしてくれる鬼である。

- 鬼の土俵からは、石組みの登山道がなくなり、ふつうの登山道となる。風雪に耐えた姿を見せるコマツガの斜面を登る。新緑も見られる。

- 八甲田山と津軽平野が見える。

- 展望所大開き。右手側に赤倉沢源頭の断崖が迫る。

- ダケカンバとコマツガ帯の登山道が続く。ダケカンバとコマツガ帯の登山道はけっこう斜度があり、長い。

- ダケカンバとコマツガ帯を抜けると展望が開け、赤倉御殿が近い。

- 赤倉御殿の祠に到着。いくつかある山頂のうち、左奥に見えるのが岩木山の山頂部分。

- 赤倉御殿から左前方に見える巖鬼山に向かって歩く。赤倉御殿から先は平坦な道で、周りに視界を遮るものがなく天上に遊ぶ雲間を味わうことができる。巖鬼山に向かって、観音石像が点々と設置されている。

- 巖鬼山に登らずに、巖鬼山の西斜面についた道を行く。

- その途中の大きな岩に2体の観音石像が置かれている。右側の石像が「第三十三番観音」だ。標高約500mの地点の「第一番」から始まり「第三十三番」まで、長い信仰の道が続いた。
- 第三十三番観音石像の近くに美しい姿の聖観音像と赤倉大権現と書かれた石碑がある。
- 右手奥にある大鳴沢源頭を目指しダケカンバとミヤマナラ帯を登る。大鳴沢源頭に着くと大きな石がごろごろ転がっている。石が転がる登山道に登り、頂上を目指す。
- 山頂に到着。山頂から見る津軽平野、七里長浜、日本海はまさに絶景。天空から見下ろすような感覚だ。

三十三体の石仏が並ぶ信仰の登山道、赤倉コースで岩木山の春を感じる。

青森県の最高峰「岩木山」。その優美な姿は津軽人のみならず、訪れた人たちの心を魅了してやまない。四季を通じてその美しさを楽しめる岩木山だが、厳しい冬を耐え忍び、育まれた命が芽吹き始める春は、また格別である。夏や秋には味わうことができない、春ならではの自然美が体験できる素晴らしい季節である。

今回紹介する「赤倉登山道(赤倉コース)」は、古くから神の山として信仰を集めてきた岩木山ならではの登山道で、赤倉神社から岩木山山頂までの間に三十三体の石仏が設置されている。第一番から第三十三番までの石仏に向

き合いながら、心洗われる宗教登山が体験できる。そしてその途中には、春の木々や花々、そして野鳥たちとの出会いが待っている。岩木山への登山道の中で、この「赤倉登山道」は、春の岩木山の醍醐味を存分に味わえる登山道となっている。雪解けとともに、岩木山固有種であるミチノクコザクラはじめ北国特有の山野草が次々と咲き始める。木々もまた花をつけ始める。この春、一斉に芽吹く生命の山「岩木山」を体験しに来ませんか。





八甲田山から望む春の岩木山

とっても香りの良いお花で、同じ場所にアオイスミシも一緒に咲いています。

エンソアオイスミシ

アオイスミシ

アブラチャンの花

春の岩木山には美しい木や花がいっぱい。



チシマザクラ



ササバギンラン



ツバメオモト



コメバツガザクラ



アラゲヒョウタンボク



ウコンウツギ



エンソツガザクラ



ズミ(エソノコリンゴ)

これは、日本海側の豪雪帯高山部でしか見られません!

岩木山周辺MAP

岩木山(いわきさん)青森県最高峰の山「岩木山」は、標高1,625メートル。青森県西部に広がる津軽平野のほぼ中央に位置する孤立峰です。別名「津軽富士」「奥の富士」とも言われ、古くから津軽の人々に愛されてきました。そんな岩木山は、神の山として信仰を集めてきました。山頂が「巖鬼山」「岩木山」「鳥海山」と三峰に分かれてあり、見る角度によって表情を変える美しい山です。

掲載の地図はあくまでも参考です。登山の際は詳細地図を持参し、しっかりとした装備で入山してください。安全な登山のため、ガイドさんに同行して貰うことをおすすめします。

●岩木山に自生している植物の盗掘は絶対にやめましょう。



岩木山神社(いわきやまじんじや)岩木山神社は、創建1,200余年の歴史を持つ本州最北端の北門鎮護と称えられる古社です。建造物には青森産のヒバが使われており、古いものでは400年の風雪に耐えているものもあります。杉木立に囲まれた参道には重要文化財指定の社殿が6棟あり、鎌倉時代の密教道場の構造をもつ社殿には桃山時代の精巧な彫刻が施され、「奥の日光」とも呼ばれています。

【車でお越しの方】 バスの便はありませんので、自家用車利用になります。弘前方面からは岩木町賀田から環状線に入り、弥生を經由して大石神社、または赤倉神社に駐車。または高杉、大森経由で赤倉神社へ。五所川原方面からは森田、大森経由で赤倉神社へ。

岩木山の案内に関しては… 岩木山を考える会(事務局長 三浦章男) (連絡先) Tel.&Fax. 0172-35-6819 <http://www.iwakisan.jp/>